



おうちでもできる、水をよごさない方法ってどうするの

一人ひとりの、心くばりが大切

わたしたちは、お家でふつうに生活していると、使っていないなくなった水をたくさん捨てています。このような水を、「生活排水」といいます。よごれた生活排水を流すと、やがて、川・湖、海をよごすことになります。わたしたちの住む環境を守るために、一人ひとりの心くばりが大切です。

< 台所のよごれは、水に流さない > ハンバーグなどの油分がついた皿は、まず、新聞紙などでふきとり、その後、水で、洗い流すようにします。

また、食べ残しを、流しの排水口や、三角コーナーに入れられないようにします。残飯は、別の入れ物にうつします。流しには、水切りふくろをかぶせ、細かいくずを拾います。

米のとぎしるは、植木の水やりに使い、調理くずは、庭木の肥料にします。

< 食用油は、捨てないで、使いきる > いらなくなった油を、流しに捨ててはいけません。食用油は、そんなにいたまないの、冷えた暗い所に保存するようにします。使い古した油は、新聞紙にしみこませてから捨てるか、廃油回収に出すようにします。

洗たくのとき出る排水にも、気くばりをする

洗たくは、ふろやトイレについて、水をたくさん使います。洗たくのとき、水を使いすぎると、川をよごすことになるので、かしこい洗たくをすることが大切です。粉石けんは、計量カップで正確に計り、水が必要以上によごれないようにします。また、ふろの残り湯を使うようにすると、温度が高いので、洗う力がアップします。

このような心くばりが、やがて、大きな成果をもたらすのです。（監修・田代 脩）

